

## 「七小田んぼ愛育会」 会員追加募集のご案内

本校の5年生は「四季の道」にある水田（七小田んぼ）において、総合的な学習の一環として稲作を行っています。現在、本校の第11代PTA会長にご指導いただき、5年保護者の皆様、愛育会メンバーの皆様の皆様のご協力を得ながら進めております。

子供と共に稲作活動を行ったり、子供ができない仕事をサポートしたりするなど、多くの方のご協力を頂きたいと思っております。

「できる時に、できる人が、できることを」の気持ちで結構です。一緒に活動していただける方は、下記の申し込み用紙にご記入のうえ、ご提出ください。多くの方のご協力をお待ちしております。

お子様連れでの  
参加も歓迎  
いたします



----- 切 り 取 り -----

年 月 日

### 七小田んぼ愛育会会員申し込み

お名前 \_\_\_\_\_

お子様のお名前

ご住所 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年 組

電話番号 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年 組

携帯番号 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年 組

電話番号は、愛育会の代表者にお伝えいたします。

担任 ⇒ 副校長

随時募集をします。ご連絡ください。

七小田んぼ活動内容

時期	児童の作業	作業の中身	特記事項	ボランティアの作業
4月	草取り	前年の稲刈り以降放置されて生えた雑草を刈り取る。	刈り取った雑草はごみとせず、田んぼの南側に積んで置き、田植え後根が活着した後田んぼに戻し肥やしにする。	児童のやり残したものの整理
	田起こし	鍬・スコップなどで耕す	半年ほど放置され、硬くなった田んぼの土を柔らかくするための第一歩	
	代かき	田んぼに水を張り、足で踏むなどして、田起こしで荒く砕いた土をさらに細かくする	畦塗りのための土づくりであると同時に、他の土の凸凹を鳴らすための準備作業	
	畦塗り	粘土のようにした土を畦に塗っていく	乾燥による地割れなどを補修し、水漏れを防ぐと同時に歩きやすくする。	
5月	田ならし	トンボ、田ならし棒等を使って田の土の高低差をなくす	高低差は出来れば5cm以下にしたい	田植え作業での緑道の汚れ防止のためブルーシートを敷く 児童が足を洗うための容器の準備 苗の間隔がそろるように田んぼに線を引く 緑道の清掃 防鳥ネットを張る 浮いている苗を植えなおす 防鳥ネット撤去
		田植えの準備		
		田植え後の整備等		
		補植		
6月 ～8月	田の草取り	田んぼの中、畦の雑草を取る		基本、化学製品の殺虫剤や消毒薬は使わない。唐辛子の煮出し液や木酢液などを散布
	水管理			
	病害虫管理			
9月	台風対策			強風で稲が倒された場合、速やかに対応。4株をひもで束ねて茎を起こす。
	防鳥ネットを張る			稔り始まってから
10月		稲刈り準備		田んぼが乾ききっていない場合は、田植え時と同じようにブルーシートを敷いたりする。 台風で倒れてひもで束ねている場合ひもの撤去 防鳥ネットの撤去
		稲刈り	稲を鎌で手刈りする	安全の見守り
			稲刈り終了後の作業	田んぼに稲架を設置し、十把ほど稲架掛けする。 鎌の手入れ
		稲架掛け	学校に持ち帰り、天日干しする	雀よけのネットを張る、
数週間後	乾いた伊那東の取り込み			田んぼの稲束を学校に運び、稲架は撤去し、プールしたの倉庫に保管
田んぼの稲架掛け終了後	秋起こし			来年に向けて田起こしをする
収穫後	脱穀	千歯こきと足踏み脱穀機で、稲束から籾を取り出す		道具の準備、片付け整理指導・安全管理
	籾摺り	籾摺り器・すり鉢でもみ殻を取り外し玄米にする		
	精米	瓶に入れ棒で衝いて糠を取り除き白米にする		
	収穫祭実施のための精米			収穫祭直前に機械で全量精米。児童に見せるため半日学校で監視
	収穫祭	研究発表および炊飯など		トン汁作成などの手伝い
	なわない	脱穀して残った藁を使って縄をなう		前日、朝藁を湿らせる 午後藁を打つ。 講師の補助をする人になわない指導 講師の補助